

2020年11月期 第2四半期決算説明資料



2020年7月10日

ニッセイ（日本毛織株式会社）

東証第1部 3201

2020年11月期 第2四半期ハイライト



2020年11月期第2四半期実績は前年同期比で減収、営業利益は減益

売上高	524.5億円	(前年同期比 10.9%減 ↓)
営業利益	42.0億円	(前年同期比 1.6%減 ↓)
経常利益	47.9億円	(前年同期比 8.9%増 ↑)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27.8億円	(前年同期比 5.1%減 ↓)

目次

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 2020年11月期 第2四半期実績 | P 4～ |
| 2. 2020年11月期 通期業績予想 | P17～ |
| 3. 今後の中長期戦略について | P28～ |
| 4. 株主還元 | P35～ |
| 5. トピックス | P39～ |
| 6. 参考資料 | P43～ |

I. 2020年11月期 第2四半期実績

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



連結業績概要



新型コロナウイルス感染拡大や人とみらい開発事業の通信関連分野における事業再編の影響が響く

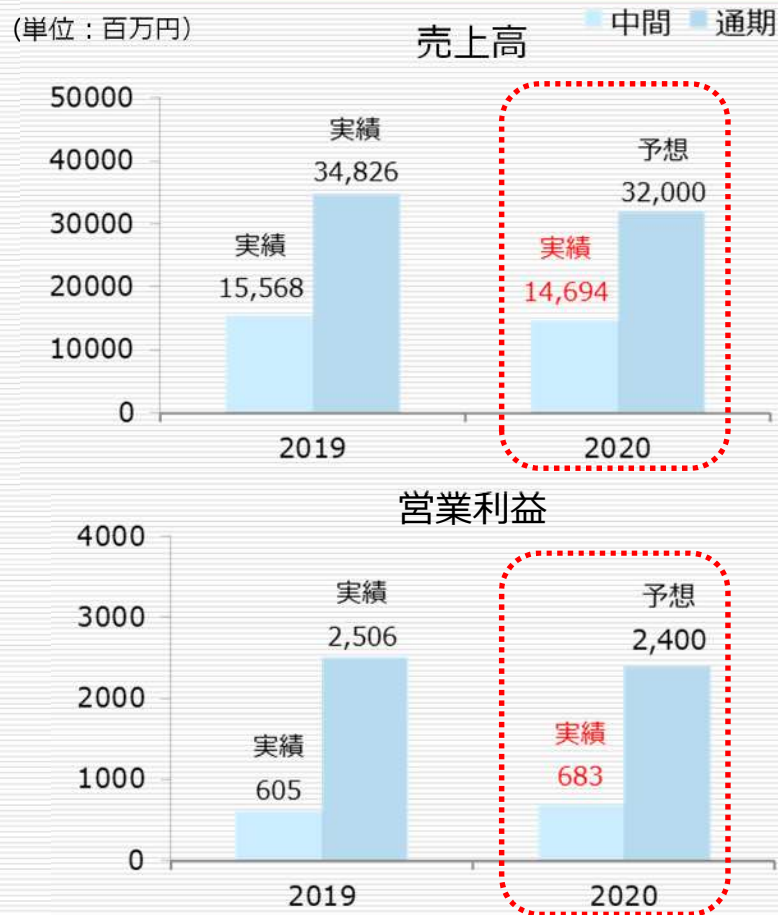
	第2四半期実績			前年同期比増減		2020.7.10時点 業績予想 進捗
	2018/11期	2019/11期	2020/11期	金額	比率	比率
(金額：百万円)						
売上高	53,230	58,876	52,451	-6,424	-10.9%	50.9%
営業利益	3,576	4,267	4,200	-66	-1.6%	57.5%
営業利益率	6.7%	7.2%	8.0%	0.8%	-	-
経常利益	3,828	4,403	4,794	391	8.9%	59.9%
特別損益	-92	294	-493	-787	-	-
親会社株主に帰属 する四期純利益	2,304	2,932	2,782	-150	-5.1%	63.2%

セグメント別業績の概要



		第2四半期実績		前年同期比増減	
		2019/11期	2020/11期	金額	比率
(金額：百万円)					
衣料繊維	売上高	15,568	14,694	-874	-5.6%
	営業利益	605	683	78	12.9%
	営業利益率	3.9%	4.6%	0.7%	-
産業機材	売上高	12,830	10,443	-2,386	-18.6%
	営業利益	915	725	-189	-20.7%
	営業利益率	7.1%	6.9%	-0.2%	-
人とみらい開発	売上高	21,570	17,314	-4,255	-19.7%
	営業利益	2,924	3,060	135	4.6%
	営業利益率	13.6%	17.7%	4.1%	-
生活流通	売上高	8,907	8,422	-485	-5.4%
	営業利益	622	540	-82	-13.2%
	営業利益率	7.0%	6.4%	-0.6%	-
その他・調整	売上高	-	1,577	1,577	-
	営業利益	-801	-809	-8	-
合計	売上高	58,876	52,451	-6,424	-10.9%
	営業利益	4,267	4,200	-66	-1.6%
	営業利益率	7.2%	8.0%	0.8%	-

衣料繊維事業の概況



前年同期比で減収増益

売上高 14,694百万円 5.6%減↓

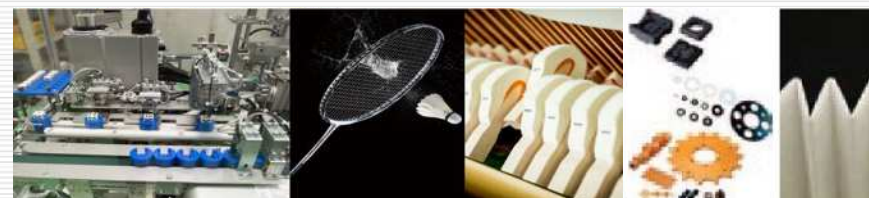
営業利益 683百万円 12.9%増↑

<業績概要>

- ✓ 学校制服用素材は価格改定前の早期引き取りが旺盛で好調
- ✓ 一般企業制服用素材、売糸は新型コロナウイルスの影響による市場の冷え込みで低調
- ✓ 一般衣料用素材は新型コロナウイルスの影響を受けるも、本年3月から第一織物(株)が連結に加わった事が寄与し前年同期並み

産業機材事業の概況

(単位：百万円)



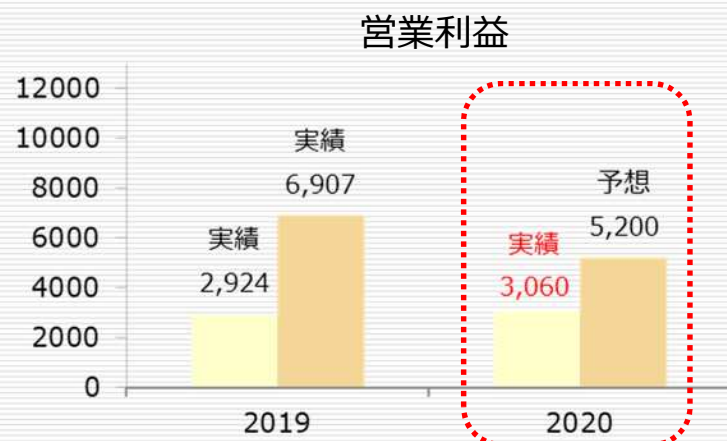
前年同期比で減収減益

売上高	10,443百万円	18.6%減 ↓
営業利益	725百万円	20.7%減 ↓

- <業績概要>
- ✓ 車両向け不織布・縫製糸、車載電装品製造ラインのF A装置は新型コロナウイルスの影響で低調
 - ✓ 環境用フィルター、楽器用資材は新型コロナウイルスの影響で低調
 - ✓ ラケットスポーツ、フィッシング関連は新型コロナウイルスの影響で低調

人とみらい開発事業の概況

(単位：百万円)



前年同期比で減収増益

売上高 17,314百万円 19.7%減 ↓

営業利益 3,060百万円 4.6%増 ↑

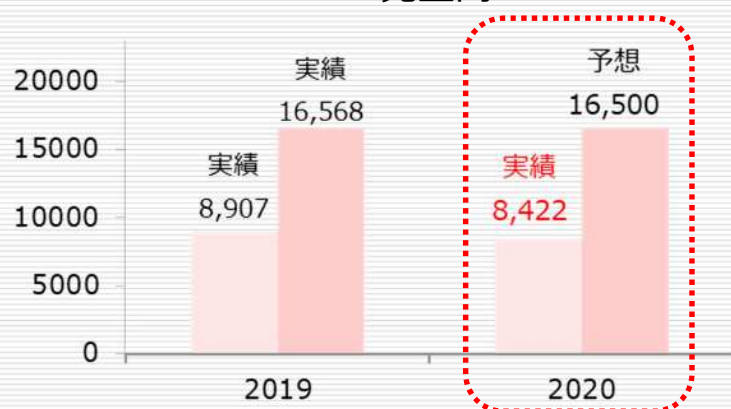
<業績概要>

- ✓ 商業施設運営は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、一時休館した影響で低調
- ✓ 建設関連は受注増加等で好調
- ✓ 介護・保育関連は利用者増加等で堅調
- ✓ キッズランド事業は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、臨時休業した影響で低調
- ✓ 通信関連は事業再編の影響で低調

生活流通事業の概況

(単位：百万円)

売上高 中間 通期



営業利益



前年同期比で減収減益

売上高	8,422百万円	5.4%減↓
営業利益	540百万円	13.2%減↓

<業績概要>

- ✓ 寝装品は暖冬の影響等で低調
- ✓ EC向け生活家電・雑貨は巣ごもり消費の需要が高まり好調
- ✓ 保険事業は引き続き堅調に推移
- ✓ ホビー・クラフト分野はインク、スタンプとも低調
- ✓ 乗馬用品は前年第3四半期から(株)日本馬事普及が連結に加わった事が寄与し好調

新型コロナウイルス感染拡大による 当第2四半期までの影響まとめ



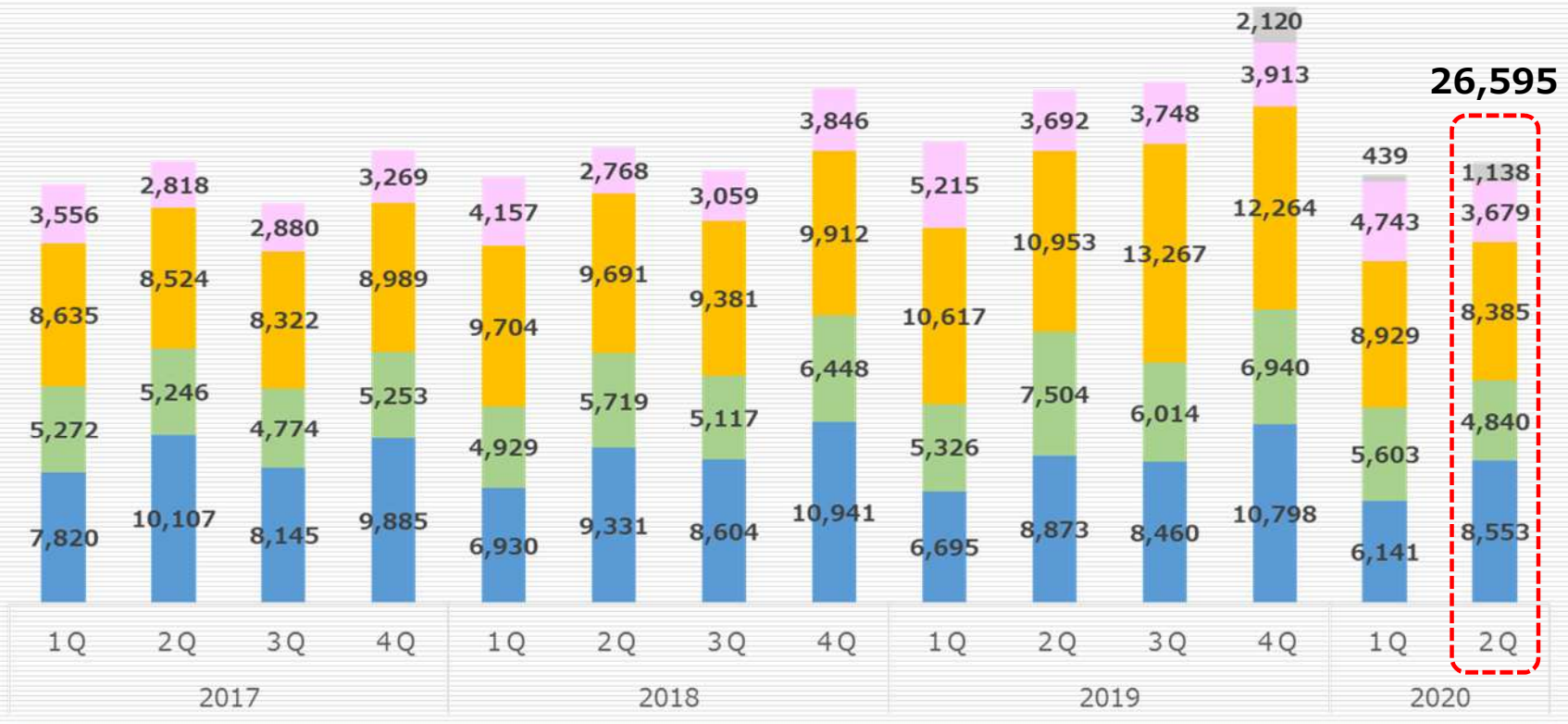
事業部	当第2四半期までの主な影響	
	ネガティブ要因	ポジティブ要因
衣料繊維事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ビジネスユニフォーム(民需)、テキスタイル(国内外)、ヤーン分野で受注減少 ✓ 中国学生服事業が一時営業活動停止 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スクールユニフォーム分野は安定した需要 ✓ 羊毛原料価格は中国の需要減少で下落
産業機材事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自動車関連(資材・FA等)、楽器用フェルトの受注が大幅減少 ✓ ラケットスポーツ関連(テニス・バドミントン)の受注が大幅減少 	
人とみらい開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 主要ショッピングセンター(千葉・兵庫)が食料品売り場等を除き一時休館 ✓ キッズランド事業(屋内型遊園地)が一時臨時休業 	
生活流通事業	<ul style="list-style-type: none"> ✓ リアル店舗販売が主のホビー・クラフト関連販売が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 巣ごもり消費でEC関連(家電・雑貨)販売が増加

セグメント別 売上高 四半期推移



(単位：百万円)

■ 衣料繊維 ■ 産業機材 ■ 人とみらい開発 ■ 生活流通 ■ 本社



セグメント別 営業利益 四半期推移



(単位：百万円)

■ 衣料繊維 ■ 産業機材 ■ 人とみらい開発 ■ 生活流通



※その他・調整額は除く

連結貸借対照表 サマリー



(金額：百万円)

連結貸借対照表	2019/11	2020/5	増減
流動資産	82,027	82,249	221
固定資産	66,679	64,868	-1,811
資産合計	148,707	147,117	-1,589
流動負債	40,353	39,670	-682
固定負債	15,009	14,368	-640
負債合計	55,362	54,039	-1,322
株主資本	87,898	89,704	1,805
その他包括利益累計額	4,012	1,675	-2,291
非支配株主持分	1,434	1,698	263
純資産合計	93,344	93,078	-266
負債・純資産合計	148,707	147,117	-1,589
(自己資本比率)	61.8%	62.1%	0.3%

連結C/F サマリー

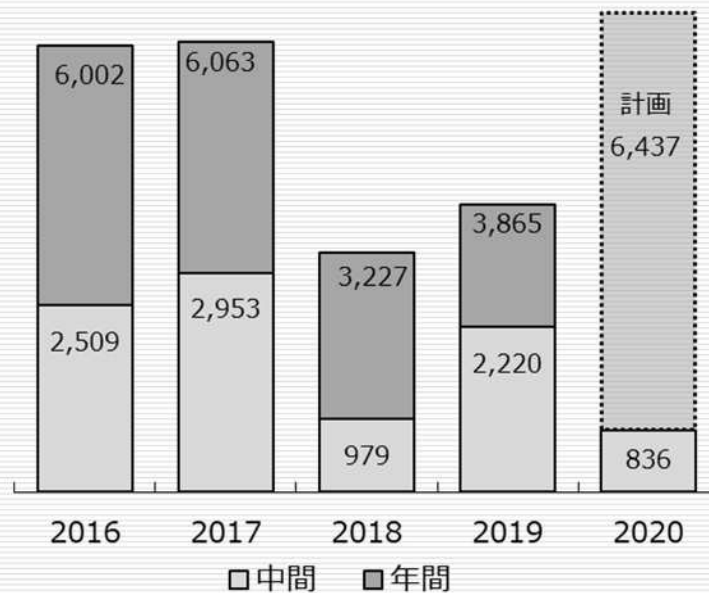


(金額：百万円)

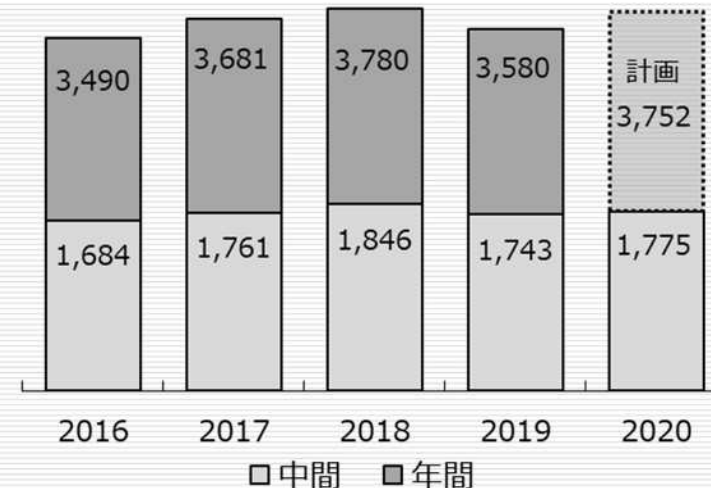
連結C/F	2019/2Q累計	2020/2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	4,586	3,115	-1,470
投資キャッシュフロー	-2,324	-3,300	-975
財務キャッシュフロー	109	4,037	3,928
現金及び現金同等物の期末残高	19,778	29,006	9,228

設備投資額/減価償却費推移

設備投資額推移 単位：百万円



減価償却費推移 単位：百万円



2020年度
主な投資案件
(予定)

- ・ニッケ機械東北事業所新設
- ・コルトンプラザ外壁工事等
- ・キッズランド新規出店 (2店舗)

約 4 億円
約 6 億円
約 2 億円 等

Ⅱ. 2020年11月期 業績予想



2020年11月期 業績予想の概要



2020年11月期の業績予想は当初予想を下方修正
下期は新型コロナウイルス感染症の影響拡大

売上高 1,030億円 (前期比 18.5%減 ↓)

営業利益 73億円 (前期比 30.3%減 ↓)

経常利益 80億円 (前期比 28.3%減 ↓)

親会社株主に帰属する

当期純利益 44億円 (前期比 32.5%減 ↓)

事業環境認識

事業部	事業環境
衣料繊維事業	ビジネスユニフォーム：オリンピック特需の反動と新型コロナウイルスの影響により市況悪化 テキスタイル・売糸：新型コロナウイルスの影響により市況悪化 海外市場：中長期では中国でスクールユニフォーム市場拡大の見込み 羊毛原料価格：新型コロナウイルスの影響で中国需要減少で下落
産業機材事業	自動車関連分野：新型コロナウイルスの影響で市場が大きく冷え込むも、中長期的ではEVや自動運転関連需要は堅調に推移する見通し 環境関連分野：中長期では中国の環境規制により市場拡大の見込み その他産業用分野：新型コロナウイルスの影響で市況悪化 生活用関連分野：新型コロナウイルスの影響で市況悪化
人とみらい開発事業	ショッピングセンター：新型コロナウイルスの影響でイベント等開催自粛 介護・保育：国内市場は拡大の見込みも競争激化
生活流通事業	Eコマース：新型コロナウイルスの影響でさらに市場拡大の見込み ホビー・クラフト：海外市場は拡大の見込みも新型コロナウイルスの影響で停滞

2020年11月期 業績予想



2020年11月期の業績予想は前期比で減収減益の見通し
産業機材事業等で新型コロナウイルス感染拡大の影響が響く

	実績	予想		前期比増減		2020.1.15時点 業績予想比増減		
		2019/11期	2020/11期		金額	比率	金額	比率
			2020.1.15	2020.7.10				
(金額：百万円)								
売上高	126,401	110,000	103,000	-23,401	-18.5%	-7,000	-6.4%	
営業利益	10,472	8,700	7,300	-3,172	-30.3%	-1,400	-16.1%	
営業利益率	8.3%	7.9%	7.1%	-1.2%	-	-0.8%	-	
経常利益	11,165	9,000	8,000	-3,165	-28.3%	-1,000	-11.1%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,520	5,700	4,400	-2,120	-32.5%	-1,300	-22.8%	

新型コロナウイルス感染拡大による 通期業績への影響見通し



事業部	2020.11期 通期業績への影響見通し	
	2020.1.15時点 業績予想比	新型コロナウイルスによる主な影響
衣料繊維	売上高 約 ▲ 3,000百万円 営業利益 約 ▲ 450百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスユニフォーム(民需)、テキスタイル(国内外)、ヤーン分野での市場の冷え込みによる売上減少
産業機材	売上高 約 ▲ 6,000百万円 営業利益 約 ▲ 900百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連市場の冷え込みによる資材、FA設備等の大幅な売上減少 ・販売店休業による釣具・スポーツ関連の売上減少
人とみらい開発	売上高 約 ▲ 900百万円 営業利益 約 ▲ 300百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・主要ショッピングセンター(千葉・兵庫)の一時休館によるテナント収入減少※1 ・スポーツ関連(テニス・ゴルフ)の一時休館や利用者減少による売上減少 ・キッズランド事業の一時休業による売上減少
生活流通	大きな影響なし	<ul style="list-style-type: none"> ・巣ごもり消費でEC関連(家電・雑貨)販売が増加 ・リアル店舗販売が主のホビー・クラフト関連販売が低調

※1 テナント収入減少による損失の一部は特別損失に計上

セグメント別業績予想



		実績	予想		前期比増減		2020.1.15時点 業績予想比増減	
		2019/11期	2020/11期		金額	比率	金額	比率
			2020.1.15	2020.7.10				
(金額：百万円)								
衣料繊維	売上高	34,826	34,000	32,000	-2,826	-8.1%	-2,000	-5.9%
	営業利益	2,506	2,700	2,400	-106	-4.2%	-300	-11.1%
	営業利益率	7.2%	7.9%	7.5%	0.3%	-	-0.4%	-
産業機材	売上高	25,784	24,700	18,500	-7,284	-28.3%	-6,200	-25.1%
	営業利益	1,820	1,700	800	-1,020	-56.0%	-900	-52.9%
	営業利益率	7.1%	6.9%	4.3%	-2.8%	-	-2.6%	-
人とみらい 開発	売上高	47,101	31,800	33,000	-14,101	-29.9%	1,200	3.8%
	営業利益	6,907	5,500	5,200	-1,707	-24.7%	-300	-5.5%
	営業利益率	14.7%	17.3%	15.8%	1.1%	-	-1.5%	-
生活流通	売上高	16,568	16,500	16,500	-68	-0.4%	0	0
	営業利益	950	900	900	-50	-5.2%	0	0
	営業利益率	5.7%	5.5%	5.5%	-0.2%	-	-	-
その他・ 調整	売上高	2,120	3,000	3,000	880	41.5%	0	0
	営業利益	-1,712	-2,100	-2,000	-288	-	100	-4.8%
合計	売上高	126,401	110,000	103,000	-23,401	-18.5%	-7,000	-6.4%
	営業利益	10,472	8,700	7,300	-3,172	-30.3%	-1,400	-16.1%
	営業利益率	8.3%	7.5%	7.1%	-1.2%	-	-0.4%	-

衣料繊維事業 2020/11期 重点施策進捗



(金額：百万円)	R N 130第1次中計				
	実績			予想	
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期	
2020.1.15				2020.7.10	
売上高	35,957	35,806	34,826	34,000	32,000
営業利益	2,017	1,882	2,506	2,700	2,400
営業利益率	5.6%	5.3%	7.2%	7.9%	7.5%

2020/11期 重点施策 進捗

- 国内利益の最大化
 - ✓ スクールユニフォーム生地価格10%の値上げ ⇒ 予定通り実施(2020/4)
 - ✓ 受発注業務等の効率化(バリューチェーンのデジタル化) ⇒ 予定通り進行中
- 海外成長の最大化
 - ✓ 中国でスクールユニフォーム事業のビジネスモデル構築 ⇒ 進捗遅れ(コロナ影響)
 - ✓ 欧州向けテキスタイル事業拡大 ⇒ 第一織物(株)をグループ化も進捗遅れ(コロナ影響)

産業機材事業 2020/11期 重点施策進捗



(金額：百万円)	R N 130第1次中計				
	実績			予想	
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期	
2020.1.15				2020.7.10	
売上高	20,545	22,213	25,784	24,700	18,500
営業利益	1,657	1,562	1,820	1,700	800
営業利益率	8.1%	7.0%	7.1%	6.9%	4.3%

2020/11期 重点施策 進捗

- エミーを活用した海外拡販の加速
 - ✓ 北米・アジアをターゲットに車両向け資材の拡販 ⇒ 進捗遅れ(コロナ影響)
- 収益拡大に向けた事業拠点の拡充
 - ✓ 中国で環境用高機能フィルターの製造・販売強化 ⇒ 進捗遅れ(コロナ影響)
 - ✓ 新工場設立によるF A設備の製造・販売強化 ⇒ 予定通り進行中

人とみらい開発事業 2020/11期 重点施策進捗



(金額：百万円)	R N 130第1次中計				
	実績			予想	
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期	
2020.1.15				2020.7.10	
売上高	34,470	38,688	47,101	31,800	33,000
営業利益	5,485	5,770	6,907	5,500	5,200
営業利益率	15.9%	14.9%	14.7%	17.3%	15.8%

2020/11期 重点施策 進捗

■ 事業環境基盤の整備

- ✓ 通信分野における事業環境変化への対応 ⇒ 予定通り進行中
- ✓ コルトンプラザの更なる魅力UPに向けた環境整備 ⇒ 予定通り進行中

■ ライフサポート分野の事業拡大

- ✓ 介護・保育関連事業の拡大 ⇒ 予定通り進行中
- ✓ スポーツ関連事業の収益強化 ⇒ 予定通り進行中

生活流通事業 2020/11期 重点施策進捗



(金額：百万円)	R N 130第1次中計				
	実績			予想	
	2017/11期	2018/11期	2019/11期	2020/11期	
2020.1.15				2020.7.10	
売上高	12,523	13,830	16,568	16,500	16,500
営業利益	656	715	950	900	900
営業利益率	5.2%	5.2%	5.7%	5.5%	5.5%

2020/11期 重点施策 進捗

- 既存事業の拡大と深耕
 - ✓ 海外向け販売の強化（寝装品・ホビー関連） ⇒ 進捗遅れ(コロナ影響)
 - ✓ 100円ショップやEコマースの販路を活用した事業拡大 ⇒ 予定通り進行中
- M & Aによる事業拡大
 - ✓ 既存事業の周辺領域でのM & A実施 ⇒ 継続的に検討中

アフターコロナの環境認識

- 「非対面コミュニケーション」や「無人化」への対応ニーズが広がる。
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の必要性が高まる。

想定される変化

- ✓ リモート営業やデジタル展示会の普及。
- ✓ 工場の自動化、5G対応等のインフラ投資の加速。
- ✓ 不動産市場の需給変化。
- ✓ ECシフトの加速。
- ✓ M & A 案件の増加。

事業部	ニッケグループの新たなビジネス機会
衣料繊維	・Web(リモート)コミュニケーションにより海外事業を効率的に推進
産業機材	・ファクトリーオートメーション(FA)事業のニーズ拡大
人とみらい開発	・外部資産の不動産開発の拡大
生活流通	・Eコマース関連事業の拡大(多種多様な商材と販路を活用) 等

Ⅲ. 今後の中長期戦略について

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業

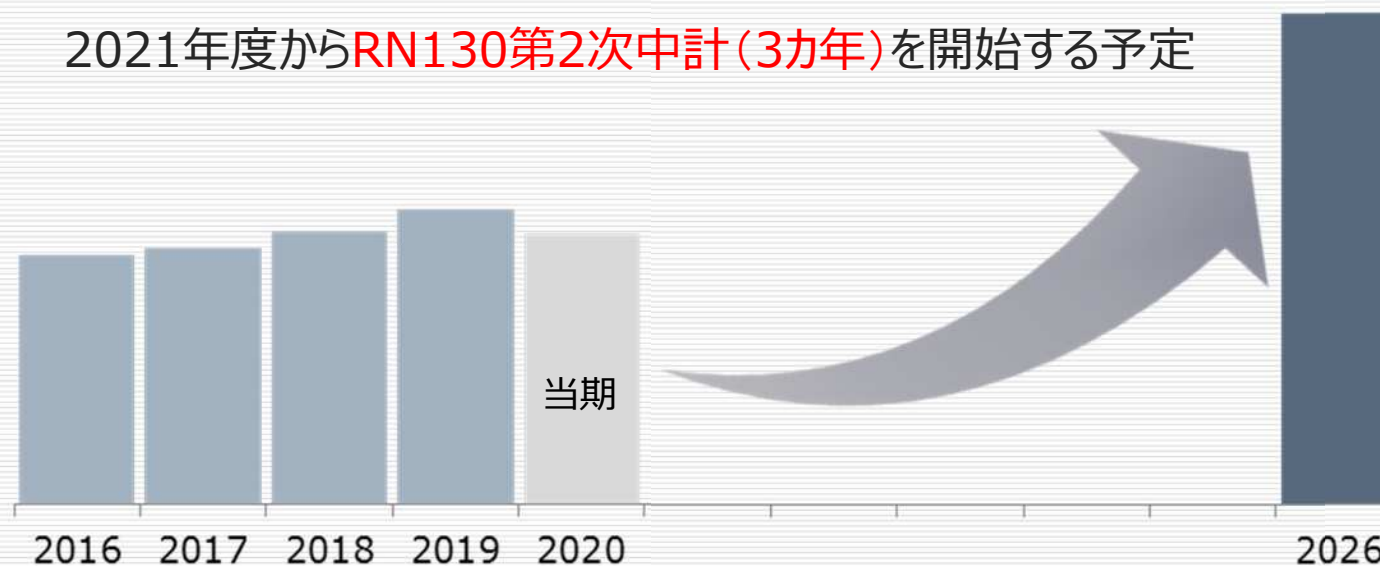


今後の中長期戦略について

ニッケグループは中長期ビジョン「RN130ビジョン」の最終年度となる2026年に向けて現在、中長期戦略を策定中

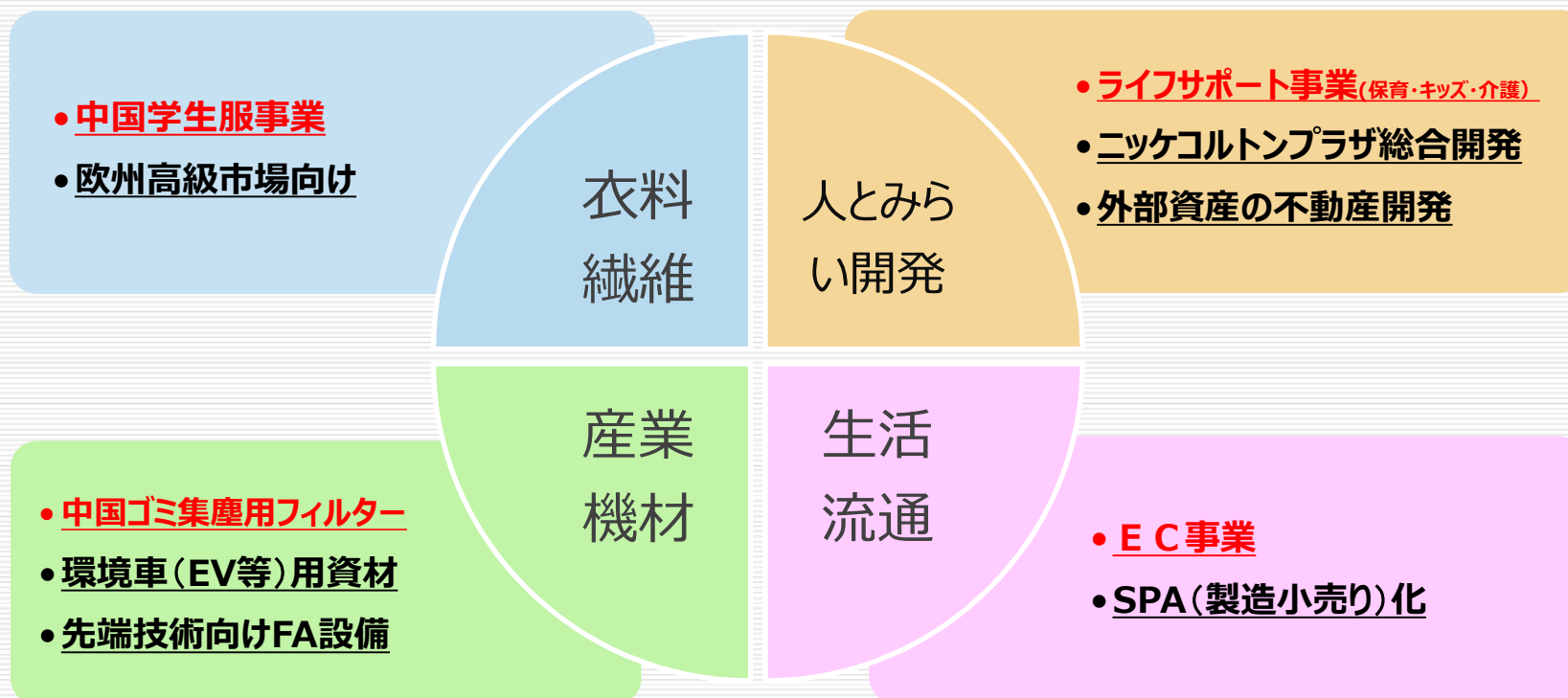


2021年度からRN130第2次中計(3カ年)を開始する予定



中長期戦略の注力分野

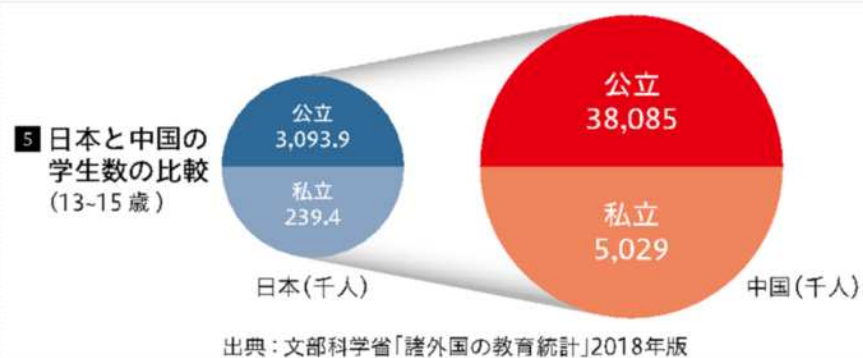
中長期での重点方針に現時点で大きな変化はないものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けスケジュールの遅れや事業戦略の見直しが必要な分野も



衣料繊維事業の中長期重点施策

国内最高水準の品質と企画力(デザイン)を活かし、中国で学生服事業を拡大

- ✓ 中国学生数は日本の約**1.3倍**(小・中・高合わせて約1億7千万人)。
- ✓ 現在、中国の学生服は主流のジャージー素材からブレザー化が進んでいる。
- ✓ 当社は特にハイクラス私立の**高級学生服市場**をターゲットとしている。
- ✓ 中国ハイクラス私立の学生人数は約**1,200万人**で日本の学生数とほぼ同じ。
- ✓ 中国では**日本の学生服人気が高く国内シェアNO.1**の当社優位性は高い。



中国（上海）での展示会の様子

産業機材事業の中長期重点施策

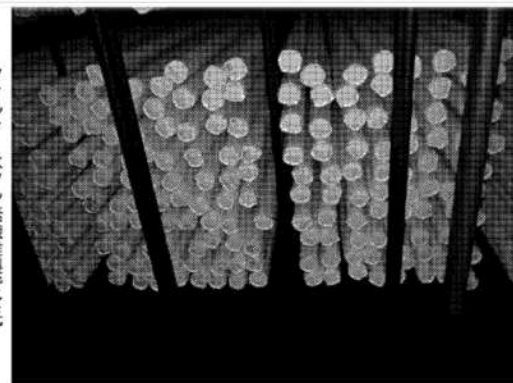
耐熱性に優れた不織布で、中国のゴミ焼却施設向け環境用フィルターを拡大

- ✓ 中国では環境規制の強化に伴い、ゴミ焼却場施設が増加している。
- ✓ 2030年までにゴミ焼却施設は**現状の約2倍(1,200カ所)**に増える見通し。
- ✓ 当社は2022年に中国でフィルター生産設備を増強し、**生産量を現状の5倍**に増やす。
- ✓ 当社製品は製品寿命が長く、維持管理費用(交換費)を抑えられるのが強み。
- ✓ 2030年までに中国での**シェアを現状の1%から10%**に拡大を目指す。



当社製品フィルターバッグ「アドミレックス」

フィルターはフッ素繊維製でセ氏
250度の燃焼ガスに耐えられる



人とみらい開発事業の中長期重点施策

複合的な街づくりでライフサポート関連事業を全国に拡大

- ✓ 当社は2002年に**介護事業**、2008年に**キッズランド事業**、2017年に**保育事業**に参入。
- ✓ この3事業とスポーツ関連(テニス・ゴルフ)事業を合せた**ライフサポート関連事業**に注力。
- ✓ これまでは当社繊維工場(or工場跡地)周辺の**ゆかり深い地域**を主に複合的に事業を展開。
- ✓ 2026年に向けて、蓄積したノウハウを活かし**保育・キッズランド事業の全国展開**や、**スポーツスクールの拡大**を目指す。



介護施設 あすも加古川
(兵庫県加古川市)



ピュアハートキッズランドパークタウン加古川ミーツテラス
(兵庫県加古川市)



認可保育園施設 ぽっかぽっかにつけ保育園北方
(千葉県市川市)

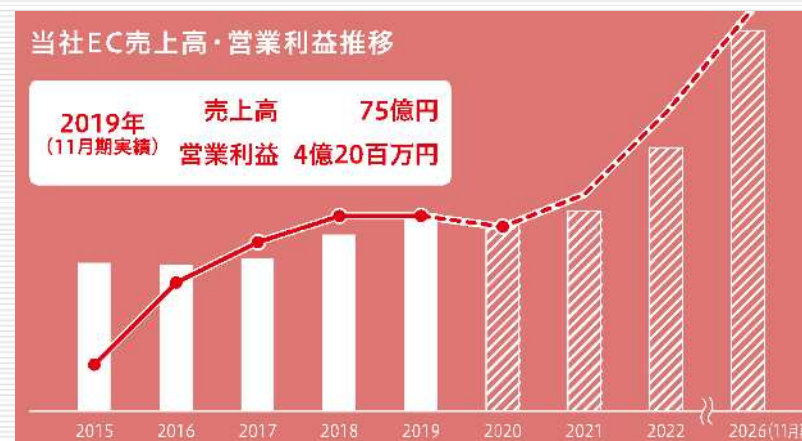
生活流通事業の中長期重点施策

ニッケグループの総合力を活かしたEC事業のさらなる拡大

- ✓ 当社はM&Aでグループに加わった3社(ナイスデイ・ミヤコ商事・AQUA)がEC事業を牽引。
- ✓ EC事業は2019年に売上高75億円、営業利益4.2億円規模にまで成長。
- ✓ 現在EC事業は統括責任者が3社(ナイスデイ・ミヤコ商事・AQUA)の社長を兼任し連携を強化。
- ✓ 2026年に向けて、当社グループの様々な商材を活かしEC事業のさらなる拡大を目指す。



EC事業の統括責任者 藤井 裕士



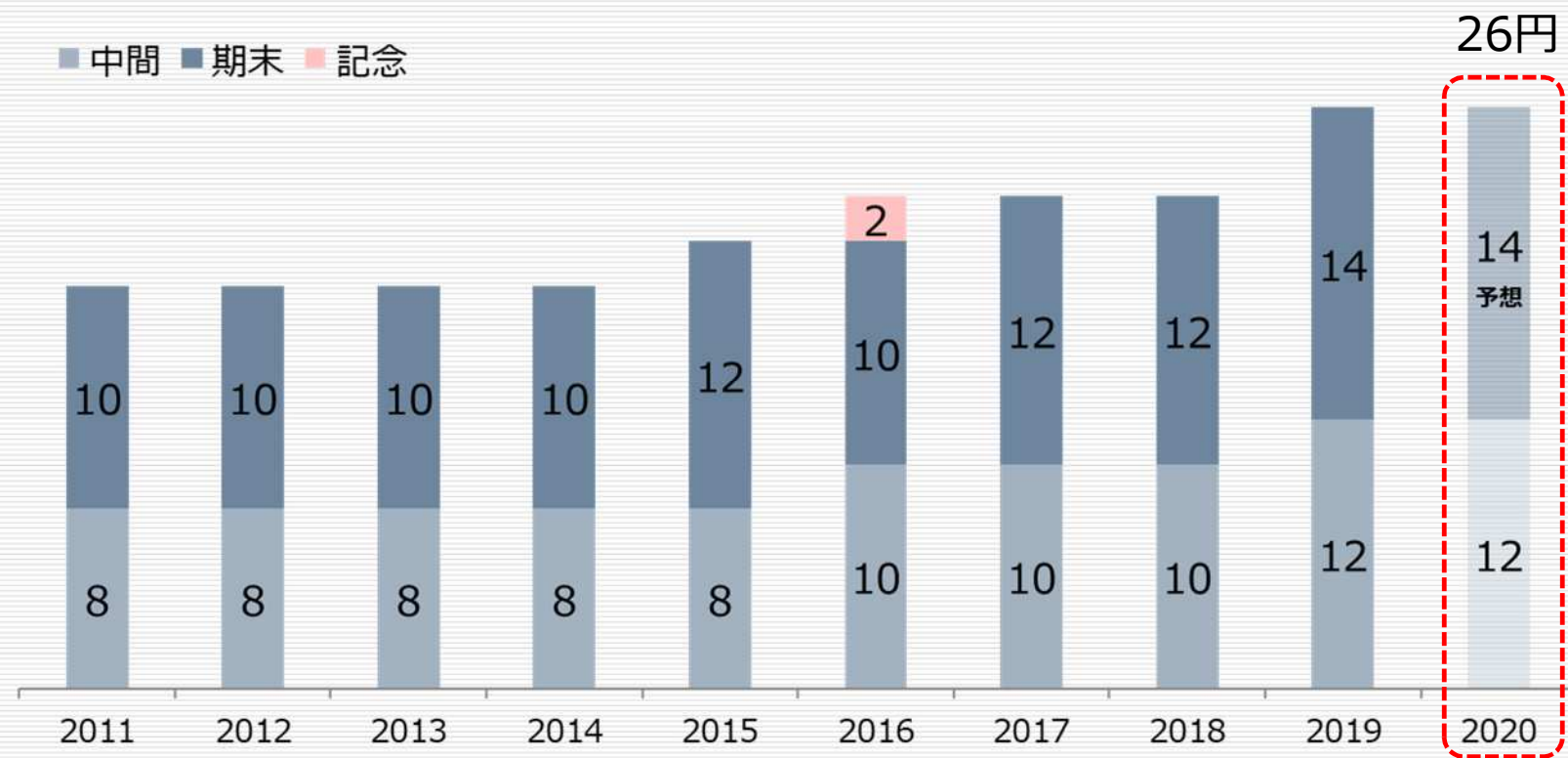
IV. 株主還元



- ①成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ②成長投資については、研究開発投資、M & A 投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行する。
- ③株主還元については、安定的な配当政策を継続する。配当性向30%を目安とし、利益水準に応じて配当を引き上げていく。自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。

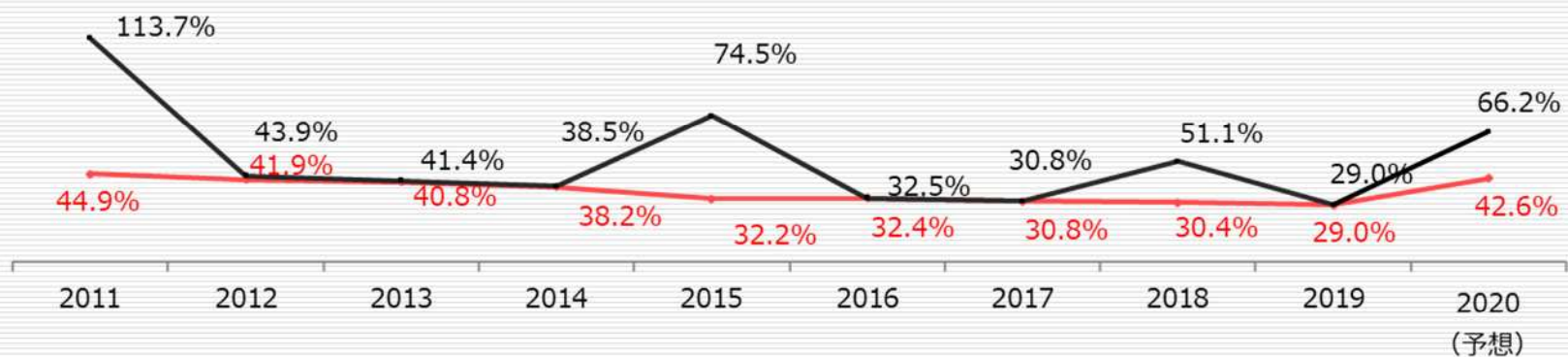
1株あたり配当

2020年11月期は、1株あたり年間26円を予定

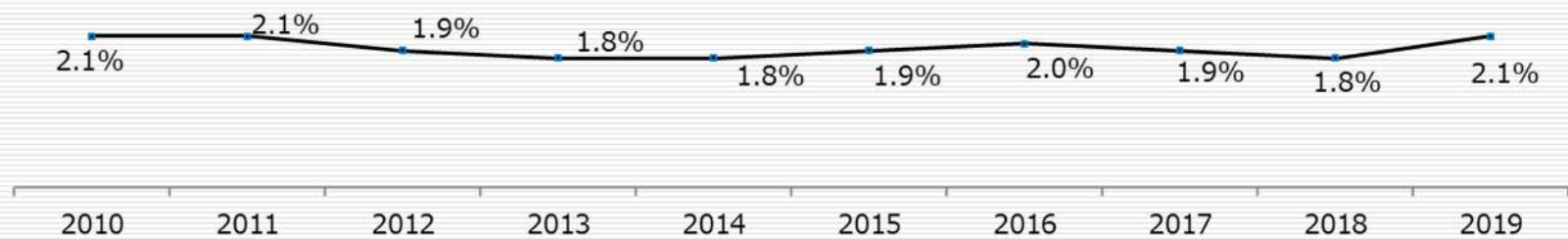


配当指標

— 配当性向 — 総還元性向



— 株主資本配当率 (DOE)



V. トピックス

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



株式会社フジコーと資本業務提携(2020年5月)



アンビック株式会社との協業で不織布事業を拡大

当社グループは、子会社であるアンビック株式会社(本社：兵庫県姫路市)を通じて、不織布ビジネスに参画してまいりました。近年、不織布業界は日本市場での規模拡大が期待しにくい環境下であり、海外でのビジネス拡大に向け、特に自動車関連や環境関連の商材を拡大すべく努力を続けてまいりました。しかしながら、特に海外展開においては、強力な競合メーカーとの競争環境をアンビック株式会社が単独で構築するには限界があり、同社と協業できるパートナーを模索してまいりました。

このような環境下において、当社は株式会社フジコー(本社：兵庫県伊丹市)と業務提携を行うことについて同社と合意致しました。アンビック株式会社と共同して両社の海外展開を加速し、また、国内市場においては相互OEM等により効率的な製造を目指すなど、両社が今後持続的な成長を実現できるよう包括的な協業を行ってまいります。また、この業務提携をより確実なものとし成功させるために、2020年5月に当社は株式会社フジコーの発行済株式総数の30.70%を取得しました。



第一織物株式会社の株式取得(2020年3月)



ウールと合繊のシナジーで新しい価値を創造

当社は2020年3月に第一織物株式会社(以下第一織物)の発行済み株式の70%を取得しグループ会社としました。合成繊維北陸産地の中心である福井市で1948年に創業した第一織物は、国内外のアパレルメーカー向けに合成繊維織物の製造、販売を行っており、中でも長年の研究開発により製造、製品化に成功した超高密度織物「DICROS」、「Plaintex」等は、他社の追随を許さない高いファッション性と機能性を兼ね備えたオリジナルのアパレル素材として有名デザイナーから高い評価を受け、日本の有名アパレルのみならず、世界トップブランドや有名アウトドアメーカーに採用されております。「国内利益最大化、海外成長最大化」を方針として衣料繊維事業を進めている当社にとって、第一織物をグループ化したことにより、第一織物が長年に



第一織物本社：福井県坂井市

渡って築き上げてきた世界トップブランドやアパレルメーカーとの直接かつ高い信頼関係を活用できると同時に、複合素材化が進むユニフォームやアパレル向けに、第一織物の製品を活用するといったシナジーを見込んでおります。

<会社概要>

会社名 : 第一織物株式会社
所在地 : 福井県坂井市丸岡町四郎丸4-100
代表者 : 代表取締役社長 吉岡 隆治
資本金 : 20 百万円

介護と保育の一体型施設を開設

ニッケグループ



ニッケとて市川



ぽっかぽっかにつけな-さりー

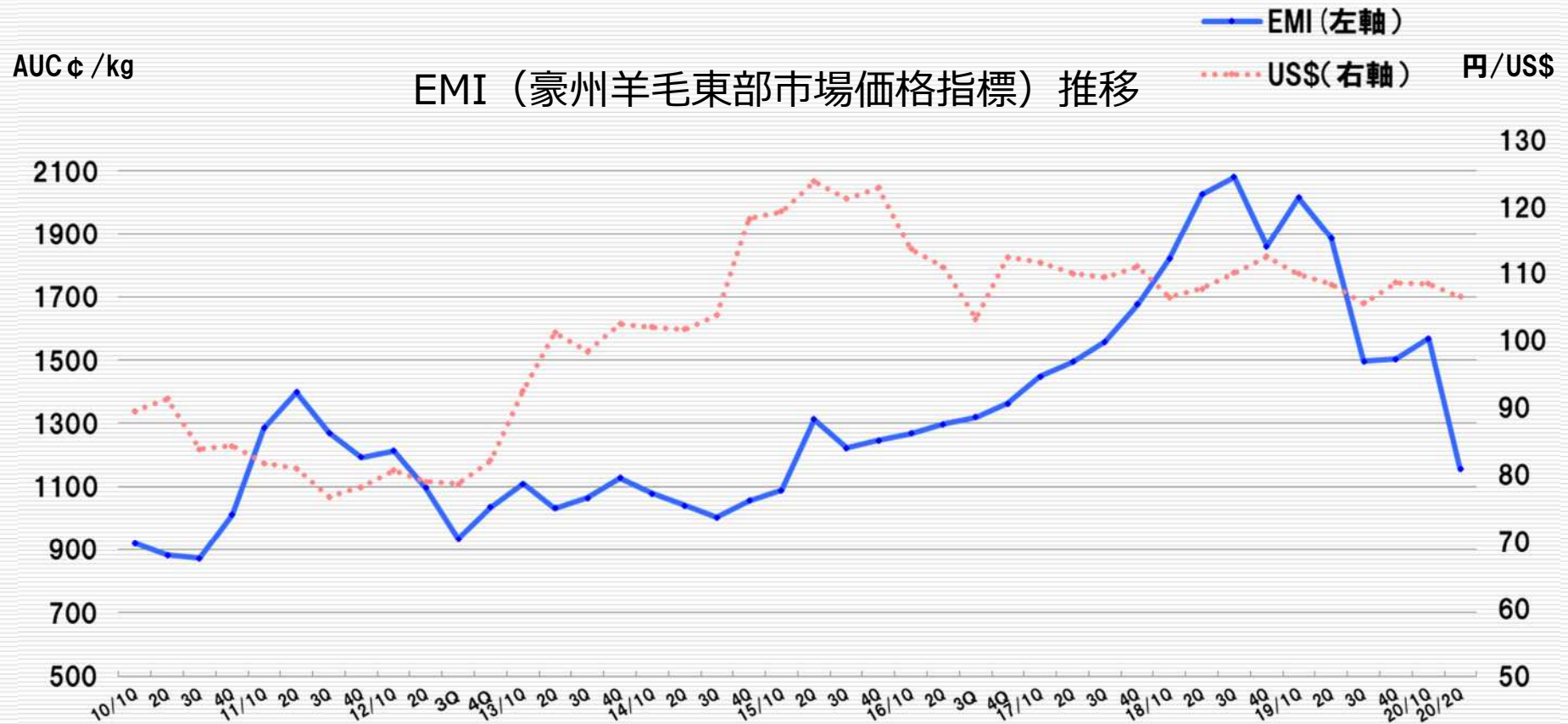
ライフサポート関連事業の新展開

2020年4月、千葉県市川市に当社グループでは初めてとなる介護と保育の一体型施設を開設しました。この施設は、株式会社ニッケ・ケアサービスによるグループホーム（認知症対応型共同生活介護）「ニッケとて市川」と、株式会社ニッケナーサリーによる第1号小規模認可保育園「ぽっかぽっかにつけな-さりー」の一体型施設です。どちらも市内限定の小規模運営となっており、良質な環境での運営を可能としています。

今後もニッケグループでは、ライフサポート事業（保育・キッズ・介護）の更なる拡大に注力してまいります。

VI. 参考資料

羊毛相場・為替相場の推移について



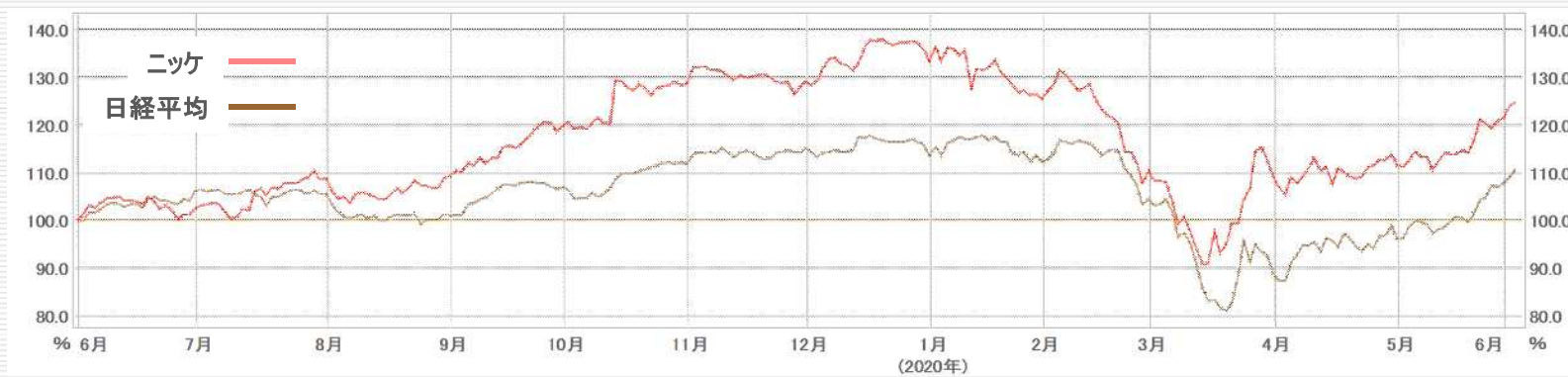
株価チャート 期間:2019/6/1~2020/5/31(直近1年)



<当社株価チャート>



<日経平均比較チャート>



本資料の取り扱いについて

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。